

新登場靈氣兵装



文：沢見 剛
イラスト：さんば挿

今回は追加の「靈氣兵装」を4種類紹介する。

靈氣兵装の力の源となる「靈核」を製作するには、呪素結晶が必要になる。呪素結晶とは魔属の体内で生成される結晶であり、格の高い(=強力な)魔属ほど、強い力を秘めた結晶をその身に宿している。

イザナミが復活した現在(戦国の世)ほどありふれてはいないが、過去の本邦にも呪素結晶は存在した。それは神々の大戦から伝わる呪素結晶であり、現代のものに比べても強力なものが多かったという。

ここでは、『平家物語』『源平盛衰記』などに登場する、源平合戦の時代に使われていた靈氣兵装を紹介する。

これらの武器は長い戦乱のなかで行方がわからなくなっているかもしれないし、狩魔が大切に保管しているものもあるだろう。

★獅子王

ししおう 分類 刀

使用条件	〈靈核起動〉3	
攻撃目標値	4	対応技能 武芸
間合	0-0	必要武勲 20
効果	威力15。この武器を装備したキャラクターを対象に含む魔将の行動の成功率[-1]。	

解説 源頼政が有名な鶴(ぬえ)退治を行なった褒美として、ときの帝から授かった宝剣です。月光の力が留まっていると言われ、刀身には昼中でさえも常に細い弓のような月が映り込んでいます。その身は、抜くだけで邪悪な心を持つ者に恐怖を与えます。

★雷上動

らいしょうどう 分類 射撃

使用条件	〈靈核起動〉3	
攻撃目標値	4	対応技能 射撃
間合	2-3	必要武勲 20
効果	威力13。この武器を使用した通常攻撃や術技に対する、怪異の回避と抵抗の目標値[+1]。	

解説 源頼政が夢のなかで、大陸の弓の名人・養由基(ようゆうき)の娘から授けられた弓です。この雷上動を用いて頼政は鶴を射落としました。雷光を模したかのような幾重もの節に分かれており、雷上動から放たれた矢を怪異は避けることができません。本来は兵破・水破(ひょうは・すいは)という2本の矢と合わせて使われているのですが、こちらは失われています。

★骨食

ほねかみ 分類 格闘

使用条件	〈靈核起動〉2	
攻撃目標値	5	対応技能 武芸
間合	0-0	必要武勲 15
効果	威力20。	

解説 源頼政の郎党である遠江国の住人・猪早太(いのほやた)が所持していた鉄鞭です。もとは大陸から伝わった仙宝に靈核を埋め込んだものだとされています。不気味な、何とも知れない動物の骨を組み合わせて作られており、倒した敵の血を吸い、骨をも砕いて内部に取り込んでしまいます。

★石切

いしきり 分類 投擲

使用条件	〈靈核起動〉2	
攻撃目標値	3	対応技能 武芸
間合	1-2	必要武勲 20
効果	威力10。この武器を使用した通常攻撃や術技の対象は[1マスの敵味方すべて]に変更可能。	

解説 悪源太(あくげんた)とあだ名された剛の武者、源義平(みなもとのおしひら)の佩刀です。義平は平清盛の暗殺に失敗し斬首されましたが、自分の首を切った難波経房を呪い、死後に雷を落として殺しています。この短刀にもその呪いが宿っており、所有者の手に雷を宿し、それを投げつけて攻撃ができます。